

フクシマで暮らす私から
3・11後を生きるあなたへ

2016/03/20 @福島大学

原発と人権 コロキウム
本田雅和

ウソとプロパガンダ

ファシズムの特徴は「国民」統合と「国民」動員のための教宣プロパガンダ
そのための排除と差別とマージナライズ

(天皇制ファシズムの特徴は「臣民」統合と「臣民」動員)

原発も「安全神話」という教宣プロパガンダなしには推進できない

事故時も同じ

「ただちに健康には影響はない」

「放射線の影響はない」→たとえば「低線量では小児甲状腺がんは増えない」

多発はスクリーニング効果だ、過剰診断だ、

科学的には「安全」なのに民衆が「安心」しないのは「無知」だからだとして
始まる「リスク・コミュニケーション」という名の

「安全・安心」キャンペーン

医療が近代→現代で乗り越えたはずのパターナリズムの亡霊

「風評被害」というウソ=実害のごまかしと被害者の分断

=加害者のいう「風評」

そこにマスメディアが動員される

疑義を唱えるジャーナリストや医師に対するレッテル貼り

科学的根拠をあげずに

「噴飯もの」「非科学的」「福島をおとしめるな」(地元紙)

→本来なら医学的根拠をあげて科学論争をすべきなのに

プロパガンダの「撃ちてし止まん」「鬼畜米英」紙面

医大理事長は記者の照会にも答えず

最低限の両論併記さえせず、、、

「甲状腺がんが増えればうれしいのだろう」(福島大教授)
 →警告に対して「不安を与える」「騒ぐな」
 現実と向き合うことへの弾圧
 「人々を傷つけるな」「住民を傷つけるな」「福島をおとしめるな」
 反原発への卑劣な中傷と分断←権力の応援団

ジャーナリストとは誰のことか?
 (医師や教師のように国家資格もない無冠の民の斥候であること)
 誰でもなれる、誰でも名乗れる
 しかし、プロフェッショナル・ジャーナリストに必要な資質とは?
 うまくまとめる筆力などでない
 市民的教養(リベラルアーツ)に基づいた歴史認識力という「志」
 少数派であることを恐れないこと=市民的抵抗の精神
 ジャーナリストである前に僕らは人間だ(広河隆一)
 ジャーナリストの条件=人間であること=よき市民であること

いくつかの問い

3・11で問われたものは何か
 誰もが当事者であることは免れない YES
 原発を推進する社会 戦争を遂行する社会 アナロジー YES
 原発を支え、恩恵を受けてきた者の責任 YES
 戦争やファシズムを支え、警鐘を發した少数者を差別し、マージナライズし、
 恩恵を得てきた小市民たちの責任 YES
 原発も戦争も 一夜にしてなったのではない

ある日 突然やってきたのではない

原発 平和利用 プロパガンダと教育
 放射能安全教育 低線量被曝=安全神話
 教育現場の動員 分断と差別と選別 アメとムチ・・・
 「原子力 明るい未来のエネルギー」

美しい、こちよ言葉で敷き詰められたペーパーメント
 では、すべての人に同様の責任があるのか?

かつての戦争を一億総懺悔で反省したように、

NON

少なくとも子どもたちの世代や、これから生まれてくる世代には
 何の責任もない
 僕らの責任とは?

環境と次世代への責任

さらに

責任には濃淡も軽重もある。

そこをきちんと問い、同じ過ちを繰り返さない歴史の教訓を学ぶ
だれが責任者か？

国と東電？ 電力業界 いうまでもない

政治家は？ いうまでもない

ジャーナリズムがきちんと問うべきは

医者、記者、学者、、、そして教師

ジャーナリズムの責任

民衆の斥候としてのジャーナリスト 肩書も資格もない無冠の意味

人民の耳目たれ、口を封じられれば手で語れ、

書く手を断ち切られても生き延びて、身体で語れ

プロフェッショナル・ジャーナリストの資質と責任

記者の素質と志=ほんの少しの叡智と勇氣

「公平中立」の隠れみの、「客観」主義のウソ

客観的に分析しているフリをするな

あのとき、そして今まで何をしてきたか、己を語れ

自己の意見と立場を明確にせよ！

あなたは何者か？ なぜ、そこに立っているのか？

戦場で問われる 現場で問われる

「希望の牧場」とジャーナリスト針谷勉の生き方

広河隆一と1枚の写真

ハゲタカと少女 大学ジャーナリズムの似非

身体を張って現地に入り、「事実」をつかむ

現場のむごい「現実」にたじろいでも→目をそらさずに向き合い、活写せよ

歴史認識の中で「真実」を別出し、歴史的文脈の中で提示せよ

プロメテウスの罫で言いたかったこと

礼束で人を罵るような行為に対する抵抗の姿を伝える。

⊕ 民衆のせりふであること。

「危険だとしてもなげきは太鼓」というフレーズの設定の仕方は許してはならない。